厚生労働省栃木労働局

Press Release

令和元年８月 28 日
【照会先】
栃木労働局職業安定部職業安定課
職業安定課長　　青 山　繁
地方労働市場情報官　川 村 繁子
電話　０２８－６１０－３５５５
FAX　０２８－６３７－８６０９

報道関係者各位

平成３０年度におけるハローワークの職業紹介業務に関する総合評価の結果が出ました

栃木労働局（局長　浅野浩美）は、ハローワークのマッチング機能（職業紹介機能）の強化を図るために実施してきた平成30年度のハローワーク総合評価結果を公表します。

＜栃木県内各ハローワークの総合評価結果＞

「良好な成果」・・・７安定所
（宇都宮所、鹿沼所、佐野所、真岡所、大田原所、小山所、黒磯所）

「標準的な成果」・・・４安定所（栃木所、足利所、矢板所、日光所）

各ハローワークの「就職支援業務報告（平成30年度）」別添参照

※　総合評価は、全国ハローワーク（437所）に共通する①就職件数②求人充足件数③雇用保険受給者早期再就職件数等を必須項目とし、これに加えて地域の特性等を踏まえハローワークごとに選択した重点的取組業務を目標に掲げ、達成状況を評価・改善するものです。

全国ハローワークをグループごとに総点数の平均値を基準とし、平均値以上を類型１（非常に良好な成果）・類型２（良好な成果）、平均値未満を類型３（標準的な成果）・類型４（成果向上のため計画的な取組が必要）に区分しています。

栃木労働局及び各ハローワークでは、平成30年度の実績と評価結果を踏まえ、平成31年度（令和元年度）の目標達成に向け、引き続き就職支援に取り組み、中長期的な業務の質の向上を図るとともに、評価の結果や業務改善の状況等について、利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼感の向上に努めます。

ハローワーク宇都宮　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、主要三項目のうち、「充足数」の目標達成を最重要と考え、特に正社員求人の充足に重点を置いて進めることとし、求人者支援員と職業相談窓口担当者がチームを作り、事業所訪問等により正確な求人ニーズを把握し、該当する求職者を紹介する「ジャストマッチング」の取組（所独自）を実施した。訪問事業所数は１４７社、取組を行った求人件数２６２件のうち４６．２％にあたる１２１件が充足。求人数では、４３３人のうち３６．７％の１５９人が充足に結びついた。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員等のニーズを「研修アンケート」により把握した上で、「所内メンター制」による研修を実施。特に若手職員の育成を図るため、メンター制を活用し相談者への個別の助言、所内研修の講師に取り組んだ。実施回数は１０テーマで１０回実施した。また、他所の好事例を取り入れたり、ヒアリング（年２回、部門管理者が実施）により提案のあった取組を実施することで、業務の質及び職員の資質向上等を図った。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

・「雇用管理改善チェックリスト」を活用して、職場環境の課題を把握するとともに、集計結果を分析し職場環境改善に努めた。

・人材の確保を強く希望する事業所に対し、求人条件緩和の提案等を積極的に行うとともに、ツアー型面接会による能動的マッチングを実施し、企業のプレゼン、職場見学会、労働条件等の確認の場を、求人者・求職者同時に提供することにより的確なマッチングを図り、求人者サービスを実施した。

・人材不足分野への関心についてアンケートを実施し、人材確保対策コーナー利用の働きかけ等を行い、個別就職支援の充実を図った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・マッチング機能（職業紹介機能）を高めるため、専門窓口（生涯現役支援窓口、人材確保対策コーナー、職業訓練窓口、マザーズコーナー・わかもの支援コーナー）間の連携を強化し、求人充足会議や「ジャストマッチング」の取組を積極的・能動的に実施する。

・駅前プラザについて、新規求職者数が減少していることから、求職者担当者制や予約相談等の拡充を図る。

（４）その他業務運営についての分析等

・所管内の新規求職者数は減少傾向であるものの、高年齢者は増加傾向である。高年齢者の就職支援に向け生涯現役支援窓口を中心とした支援の充実を図るために、就職支援セミナー、高齢者対象就職意識調査の実施、高齢者向け合同就職面接会を開催予定。

・若年求職者等のハローワーク利用促進を図るため、ツイッターを活用した効果的な周知広報を実施予定。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	フリーター等正規雇用就職件数	マザーズハローワーク担当者性支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	
実績	8，251	8，587	2，092	93．0%	99．3%	21．9%	19．4%	523	590	2，173	92．3	32，240	4，108	96	
目標	8，605	8，843	1，981	90．0%	90．0%	23．5%	21．2%	324	516	2，061	92．1	33，648	4，386	80	
目標達成率	95%	97%	105%			93%	91%	161%	114%	105%	100%	95%	93%	120%	

※　目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク鹿沼　就職支援業務報告（平成 30 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、所の重点指標として、鹿沼市雇用対策協定に基づく事業計画目標にも掲げている「生活保護受給者の就職件数」に重点をおいて取組を実施した。具体的な取組みとして、鹿沼市と連携し、就労困難者（生活保護受給者、生活困窮者、児童扶養手当受給者、ニート、引きこもり等）への就労支援の実施や鹿沼地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会において、福祉部門と雇用部門の各機関が就労支援の目標を共有し効果的・効率的な就労支援となるよう連携、協力を図っている。３月末時点で年間目標を１２件上回り 114%の達成率となった。

主要 3 項目からは「求人充足数」を最重点項目として取組を実施した。具体的な取組みとして、初回認定日に合わせたセミナーを実施し、本人の希望条件に見合う求人票を各人ごとに提供し就職意欲の喚起を図った。また、正社員求人等でも良質求人の確保、求人条件緩和指導を積極的に実施し未充足求人の解消を図った。週替わり求人情報の提供（月 4 回：正社員対象求人 2 回、面接対象求人（書類選考無）、高齢者対象求人）を行った。当所では、新規求職者に占める中高年齢者層の割合が高いため、45 歳以上の求職者に対する合同面接会を実施し、中高年齢者層の就職支援につなげた。更に求人充足会議、ミニ面接会の開催、画像情報の収集等によりマッチングを図った。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の資質向上や育成を図る観点から、若手職員への職業相談部門研修やＯＪＴを実施して知識向上に努めた。また、マッチング機能に関する業務について全職員等が再認識を持った業務が出来るよう全体会議や再任用職員によるＰＤＣＡ研修会を実施した。さらに専門性、正確性が必要となる労働関係法令に関しては、鹿沼労働基準監督署　監督課長を講師に「労働法研修会」を実施し職員の資質向上に努めた。

鹿沼市雇用対策協定での事業計画で鹿沼市主催による外部講師を招いての「働き方改革・テレワークセミナー」開催においては、職員２名を参加させ支援を図るとともに知識向上に努めた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職を図るため、雇用保険説明会前の待ち時間を活用し、求人事業所 PR ビデオ（動画）を放映した。この動画は、鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会において「合同就職面接会での事業所プレゼンテーション用」として作成したもので、１社２分程度、ドローンによる会社全景や、社長・担当者による自社製品の案内、仕事内容の説明等、実際の作業現場を提供している。これにより求人票以上の事業所情報を得ることができ、就職促進、求人充足につなげる対策となった。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

上記求人事業所 PR ビデオの対象事業所を増やす（H31 年度 7 社追加予定）。さらに職業相談部門の待合席に設置してあるインフォメーションディスプレイを利用して、毎週月水金の午後２時から３時まで求人事業所 PR ビデオを放映し、求人・求職者のマッチングの向上を図る。

また、新規求職者が減少する中、中高年齢者層の割合が高くなっているため、自治体等との共催による合同面接会では、学卒・若年者だけでなく、中高年齢者層を含む年齢不問求人対象とした開催を計画している。

（４）その他業務運営についての分析等

鹿沼市との雇用対策協定運営協議会において、若者の雇用対策推進事業として合同面接会の開催やＵＩＪターン促進事業として都内でのイベントの周知協力、連携を図り管内企業への雇用につなげている。中学校ではキャリア教育職業講話の実施や新たなるユースエール認定企業の確保に取り組んでいる。新規の取組として、高校、専門学校と企業を交えた就職情報交換会を計画して更なる地元企業への就職の拡充を図っていきたい。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1,455	1,347	422	95.8%	99.1%	20.4%	19.7%	97	4,385	759		
目標	1,529	1,423	422	90.0%	90.0%	22.9%	20.9%	85	4,354	698		
目標達成率	95%	94%	100%			89%	94%	114%	100%	108%		

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク栃木　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、地域における職業生活の安定とその向上を推進するために、求人充足と就職促進の双方に係る目標達成を最重要課題と考え、個別の求人に係る求職者からの声を求人充足サービス担当者が当該求人者にフィードバックして求人条件の改善を勧奨する取組みや、中高年齢者や障害者を対象者とした就職面接会を独自に複数回開催するなどの取組みを実施した。

その結果、「求人充足件数」、「就職件数」及び「雇用保険受給者の早期再就職件数」といった主要指標は全て目標を達成した。特に、平成 30 年度に初めて開催した当所管内事業所に限定した障害者合同就職面接会は、求人事業所 10 社、求職者 73 名の参加をいただき、就職件数も 10 件に達するなど障害者雇用率の向上と各事業所の人材不足問題に対する成果を得ることができた。

当所の求職者は中高年齢者層が多いことから、面接会会場に「栃木市生涯現役促進協議会」の相談ブースを設置するなど、市町との連携強化も図り、就職に結びつけた。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、ＰＤＣＡサイクルの有効活用による業務改善を図るための独自研修を新規で実施したほか、労働基準法の運用に係る伝達研修、障害者支援のあり方に関する検討会の開催により、当所の業務水準の底上げを図った。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、従来から専門スキルを有する職員による４コースの「ステップアップセミナー」を開催しており、求職者のニーズに対応するために「面接対策セミナー」を新規に追加実施した。

また、各種広報物の見やすさ・わかりやすさを向上させるために、掲示方法を系統別に整理するとともに、当所玄関ホールにＡ２ポスター大のフリースペースを設け、自社のアピールを強化したい求人者が利用できる取組みも新規に開始した。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

来所いただいた利用者へのサービスを重点的に実施した結果、各事業の実績は目標水準を達成することができたところですが、各求人事業所を訪問して実情を把握することや、実際の職場を確認して求職者に詳細で具体的な説明を実施することが、求人の更なる充足や、より良い就職の促進のために必要なことから、職員の求人事業所訪問を更に強化していく。

（４）その他業務運営についての分析等

人口オーナス期の労働力不足対策として、性別や年齢、勤務時間等に縛られない多様な人材が活躍できる環境整備のため、働き方改革の本格的な浸透を図り、求人条件設定の緩和等の工夫を進めたい。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者の就職件数	障害者の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,959	2,033	724	84.6%	96.5%	22.6%	17.1%	98	174	6,102	956
目標	1,864	2,018	708	90.0%	90.0%	24.0%	18.0%	85	145	6,200	940
目標達成率	105%	100%	102%			94%	95%	115%	120%	98%	101%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐野　就職支援業務報告（平成 30 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、「マッチング機能の強化の取組」を最重要と考え、特に重点的に進めることとした。事業所訪問により求人票以上の活きた情報を、所独自の「事業所情報シート」に取りまとめ、職業相談部門全体で共有を図った。登録事業所１２４社の求人に対する紹介件数４１６件、充足件数１１１件となり、マッチング向上に繋がった。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、統括職業指導官が定期的に個人ごとのデータの集計及び分析をした上で、職業相談担当者の就職支援状況を確認し、助言、指導を行い、一人一人に分析結果及び今後の方向性を示すことにより、職業相談窓口担当者のマッチング能力の向上を図った。また、職業相談のスキルアップの為、所内研修を年３回（障害者支援、助成金、労基法）実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

事業主サービスの向上策として、求人充足会議は毎週水曜日に定期的に開催することとした。求職者から応募を躊躇する理由等を確認し、それらの意見を参考に、事業主へ求職者からの生の声を届け条件緩和を助言。求職者のニーズに合う求人票の再作成により、マッチング力が高まり、求人充足に繋がった。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者のうち在職者（特に若年者・非正規労働者）の占める割合が増加しており、正社員求人を中心に合同就職面接会を開催することにより、求人者、求職者のマッチング機能を強化する。

（４）その他業務運営についての分析等

求職者の就職促進を図るため、雇用保険受給者と一般求職者それぞれ４段階に分けて求職活動状況等マッチングアセスメントにより分析し、

積極的な求職者担当者制を実施した。求職者ニーズを基に「さの合同就職面接会」の参加勧奨を行った結果、参加者は６０名に達し、マッチングの機会を提供することができた。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人数（必須）	正社員就職件数（必須）		
実績	1781	1481	538	83.3%	96.9%	24.9%	18.7%	130	4101	841		
目標	1778	1492	483	90.0%	90.0%	25.1%	20.3%	85	4271	890		
目標達成率	100%	99%	111%	/	/	99%	92%	152%	96%	94%		

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク足利　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、正社員雇用と正社員就職の取組を最重要と考え、正社員求人数・正社員就職数・学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職について重点的に取り組んだ。その取組の一つとして、所独自の「マッチングキャッチボール」を実施した。求職者が就職したいと思う雇用条件を求人者に理解していただいたうえで、条件緩和を行い、魅力ある正社員求人の確保に努め、求職者には、求人者から聴取した採用の基準（ポイント）等求人票以上の情報を提供した結果、実施回数は計２０回で就職率は５９．４％となった。

また、正社員を確保していきたい事業所からの要望が多く、ミニ企業説明会（面接会）を積極的に行い、年間で１３３事業所、２８３名の求職者が参加、紹介件数７２件となり４１件の求人充足を図ることができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

①玄関入口の求人票・説明会（面接会）開催案内リーフレット関係の案内掲示方法の見直し、庁舎環境整備を行った。

②これまで週１回の求人情報を作成していたが、月２回「福祉関係お仕事情報」を発行し、福祉分野に特化した求人情報を追加し、情報提供の幅を広げた。

（３）今後のサービス改善・業務改善の取組について

恒常的なミニ企業説明会（面接会）の開催は、求人事業所から数多く要望があり、求人者サービス・雇用管理改善・正社員求人確保及び求職者サービス向上に効果があるので、引き続き実施する。マッチング機能を強化するため、開催頻度や開催内容の見直しを図る。

（４）その他業務運営についての分析等

関係機関と連携して取り組んだ面接会は、周知方法も広い範囲で行われていることから、通常ハローワークを利用していない方も含め参加者多数となった。足利・佐野合同就職面接会、農家面接会、両毛圏域障害者合同就職面接会は、引き続き連携して実施していく。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結び付いたフリーターの数	正社員求人数	正社員就職数
実績	1,943	1,944	572	100.0%	99.2%	21.1%	19.6%	189	302	5,759	956
目標	2,025	2,078	604	90.0%	90.0%	23.2%	21.5%	170	340	6,100	970
目標達成率	95%	93%	94%			90%	91%	111%	88%	94%	98%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク真岡　就職支援業務報告（平成 30 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

雇用情勢が改善し新規求職者が減少していることから、当所では、充足件数の目標達成が最重要と考え、特に重点的に進めることとし、「求人に対する担当者制の実施」の目標達成及びマッチング機能の強化等による求人者サービスとして、来所勧奨型紹介、提案型紹介及びミニ面接会の開催などを積極的に取り組んだ。

特に、ミニ面接会については、会社説明会とセットしたものを含め計２４回開催し２０件の採用に結び付けることができた。

また、管内全ての地方自治体と連携を図り共催による就職面接会を積極的かつ効果的に取り組み、計３回開催（就職件数４０件）するなど求人者・求職者に対するマッチングに効果を得、当管内における雇用対策への推進を図った。

なお、各地方自治体からは引き続き雇用対策の一環とした当就職面接会の事業について継続への要望があった。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、双方担当者制による職業相談を充実し提案型紹介の推進など職業相談における質の向上を図るため、職業相談部門全員による事業所訪問を行い事業内容や求人票以外の情報、加えて、求人事業所採用担当者等との意見交換により事業所ニーズを詳細に把握するなど、マッチングへの成果につながる求人充足サービスのため、職員の資質向上に向けた取組を実施した。

また、職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準監督署と連携を図り、年１回研修を実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者サービスの観点から、求職者が求人票のどこを重視して職業選択を行うのかを的確に把握するためアンケートを実施し、その結果を求人者にフィードバックすることで、求職者の立場に立った分かり易い求人票の作成や雇用管理指導等に活用を図った。

また、求職者からの要望として応募書類の作成支援などの意見が多数見受けられたことから、職業相談時や雇用保険受給者初回講習時の機会を捉え、就職支援セミナーの活用について周知強化や直接職業相談窓口において応募書類の作成支援に努める等業務改善を行った。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少に伴い、今後一層の求人者サービスの強化を図るため、“ツアー型面接会”や“ミニ会社説明会”などによる能動的なマッチングを実施するとともに、加えて、可能な限りハローワーク職員も同行し、作業環境や職場の雰囲気など求人票以外の情報（画像情報収集等を含む。）を積極的に収集し、その得られた情報や知識等は、より一層マッチングを意識した職業相談（双方担当者制を含む。）や提案型紹介などの場面で生かせる積極的な求人者サービスに取り組む。

また、求職者に対する就職支援及び求人者に対する充足支援の取組として、積極的な“事業所ＰＲシート”の作成による“見える化”を推進し、マッチング精度の向上を図る。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 30 年度は、管内雇用情勢が改善し新規求職者が減少したことから、就職件数、充足件数、雇用保険受給者早期再就職件数のいずれも目標に達しなかった。今後は、ハローワークを利用していない方にも職業相談窓口をご利用いただくためのアナウンスを実施するとともに、職員の資質向上を図り、就職支援及び充足支援の更なる強化のためマッチングを能動的・積極的に推進する。また、各地方自治体やＪＡ（農業協同組合）と共催による就職面接会やミニ面接会の実施については、一定の成果が得られていることから、関係機関等と連携を図り、積極的に事業を推進する。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生保受給者等就職件数	正社員求人数	正社員就職数		
実績	1,880	1,701	502	98.0%	98.0%	22.5%	16.7%	118	5,653	875		
目標	1,929	1,777	520	90.0%	90.0%	23.9%	17.8%	85	4,732	880		
目標達成率	97%	95%	96%	－	－	94%	93%	138%	119%	99%		

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク矢板　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、「正社員求人数」と「正社員就職」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとした。所独自に６～８月を正社員実現キャンペーン期間に設定し、正社員希望求職者へアンケートを実施し、４５０件の回収アンケートを取りまとめた。求人申込事業所へ求職者の声として周知を図りミスマッチの解消及び良質な正社員求人の確保に努めた。また、正社員ミニ面接会を年２３回開催し、参加事業所２５社、参加求職者９４人、うち１４人が正社員採用となった。また、人手不足の分野である介護職に特化したものでは、介護関係の職業訓練受講の来所指定日に併せた面接会・見学会を行い、４人が採用となった。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、ハローワークの基本業務である職業相談紹介業務、求人業務及び雇用保険業務の取扱の平準化を図るため、職業相談紹介業務、求人業務に係る研修を年７回開催、雇用保険業務に係る研修を年３回開催した。

また、地域の労働基準監督署等と連携を図るため、宇都宮労働基準監督署、大田原労働基準監督署、日光労働基準監督署とそれぞれ連絡会議を実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

所内が狭隘なため、新規求人等の展示等の見直しを図り、ミニ面接会、急募求人、新規求人、条件緩和された求人、職業訓練関係等、コーナー別に分類整理し見やすい展示に努めた。また、毎月３回発行している求人情報誌については、管内の全求人をフルタイム・パート別での一覧の作成をしていたが、管内２市１町の地域別にフルタイム・パートの雇用形態別で作成した。求職者からは、地域別となり探しやすくなったとの一定の効果の声をいただいている。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人・求職者のマッチング機会を数多く提供できるよう「ミニ面接会」の見直しを図る。求職者には、求人票以上の情報収集が可能な「事業所見学会」や「事業所説明会」を設け、「ミニ面接会」とセットにすることで、効果的・効率的に展開し、マッチング精度の向上を図る。

雇用保険受給者の早期再就職が目標３７６件に対して実績３４２件であり達成率９０％と低調であったため、認定日等の職業相談の充実を図

り、受給者の求職活動状況に応じた就職支援メニューを有効活用し、早期の再就職支援を推進する。
（４）その他業務運営についての分析等
　職業相談部門と管理課との連携を強化するため、部門間の業務研修を行う。また、職業相談部門の窓口担当者については、専門性の向上を図るため、応募書類作成・面接支援の研修を行う。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1,398	1,189	342	95.5%	98.1%	25.1%	23.4%	80	2,885	700		
目標	1,327	1,174	376	90.0%	90.0%	24.0%	23.4%	85	2,681	660		
目標達成率	105%	101%	90%			104%	100%	94%	107%	106%		

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大田原　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、求人の量的確保がされている現状を踏まえ、魅力ある求人の作成や正社員求人の確保に重点を置いた上で、ミニ面接会の開催や雇用保険説明会後の事業所説明会を実施した。また、新たな取組として、求人票に記載されている仕事の内容を実際の現場で「見る」「聞く」「知る」ことが出来る「事業所見学会」を開催して、早期充足に取り組んだ。

特に、人材不足分野である介護分野においては、介護関係の職業訓練施設と連携を図り、就職支援の一環として、職業訓練開始の間もない時期に施設の違いを知るための「企業説明会」を開催し、職業訓練修了時期には就職を意識した「ミニ面接会」を実施して就職支援と充足対策に取り組んだ結果、当該取組の成果等により充足件数及び所重点指標である介護・看護・保育士分野の就職件数は目標を達成することが出来た。

【３月末現在　充足件数２１６３件　達成率１０６％　／　介護・看護・保育士分野の就職件数３０９件　達成率１１０％】

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

多岐にわたる業務の中で、疑義の解消や改善提案を始め、企画検討・協力要請・情報共有などの提案や相談が出来る場である「持ち寄り業務会合」を実施し、所内の業務を円滑にすすめ、成果向上を目指した。「持ち寄り業務会合」を行うことで、業務の提案がしやすく、改善・検証が業務に活かされるため、業務の向上とともに職員・相談員のモチベーション向上にもつながった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

子育てと仕事の両立支援窓口であるマザーズコーナーの出張相談において、那須塩原市のニーズに応え、出張相談回数を増やし、子育て中の就職支援の強化・拡充を図った。

地元の求人企業を広く周知するため、新たに「大卒等企業交流会・企業説明会」を企画し、新規学卒者・既卒者だけでなく、学生や保護者など幅広く参加勧奨し、求人事業所のＰＲする機会を提供することができた。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人票に記載されている内容を現地で「見る」事業所から「聞く」そして「知る」ことが出来る「事業所見学会」に職業相談窓口担当者が同行することで、管内企業の事業所情報の収集や求人内容を詳細に理解することが出来、効率的なマッチングが可能となることから、今後も計画的に実施する。実施した事業所からは、採用選考につながる取組みとして効果的であり、参加した求職者は、具体的に仕事の内容もわかりやす

く、事業所の雰囲気や働いている従業員などの様子なども詳細にわかるため好評だった。実施後のアンケートからも、求人者ニーズ・求職者ニーズが高いことが把握できたため、実施回数を増やし、より多くのマッチング機会を提供する。

（４）その他業務運営についての分析等

職業意識啓発の一環として、中学生に対し職業体験の事前指導として「マイチャレンジ社会人講話」を実施した。高校生に対しては、地元企業の協力を得て、１，２年生を対象として「企業説明会」を実施した。その結果、中学生に対する職業意識啓発事業は、他の中学校からの要望もあり、１校増えて２校の実施となった。高校生に対しては、卒業生が出身校で講演することで、在校生に対する意欲喚起の効果が高いと、学校、企業ともに好評であり、ニーズの高さを実感した。今後も、職業意識の向上と地元企業のＰＲとして就職促進につながるよう、取組内容の充実を図っていく。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	正社員求人数	正社員就職数	介護･看護･保育分野の就職件数	所で選択して記載
実績	2,258	2,163	561	96.1%	99.1%	23.2%	21.0%	128	4,732	1,032	309	
目標	2,255	2,041	558	90.0%	90.0%	24.8%	20.6%	124	4,287	954	280	
目標達成率	100%	105%	100%	－	－	93%	101%	103%	110%	108%	110%	

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク小山　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人充足サービスを最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者アンケートによる求人ニーズの把握・分析を行い、その取りまとめ内容を求人者に情報提供する求人充足促進の取組を行った。

求職者アンケートは８６８名から回答を得て、求人条件で重視する点等について集計・分析し、リーフレット「求職者が求人を見るポイント」にまとめ求人者へ情報提供すると共に、求人条件緩和や、求めている人物像を求職者に分かり易く求人票へ記載する等により充足しやすい求人票の作成支援に取り組んだ。

当所における平成３０年度の求人充足件数は３，０９４件で目標達成となった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

付属施設「小山わかものハローワーク」において学卒業務を行っていたが、学卒求人の受付窓口と一般求人の受付窓口の場所が異なっていたため求人申込にあたり不便をきたしていたものを、平成３１年４月より小山所本所へ学卒業務を移すことで求人申込の利便性を図った。これにより、小山わかものハローワークは４５歳未満の若年者を中心とした専門的な就職支援を行う付属施設窓口とした。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会は６７回開催し、面接件数は１１１件、就職件数２８件と一定の充足サービスは図られたものの、今後も一層、求人者の充足ニーズが高まっていることから、求人・求職のマッチング精度を高められるよう、事業所見学会や事業所説明会等を組み合わせ、効果的なミニ面接会の開催により早期充足が図られるように取組むこととする。

（４）その他業務運営についての分析等

引き続き、管内自治体等と連携を図り、管内求人企業のＰＲなど魅力ある企業情報を発信し、管内企業への就職促進に取り組む。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	
実績	3，521	3，094	932	75．0%	96．3%	20．1%	19．4%	126	418	13，066	1，871	
目標	3，592	3，035	902	90．0%	90．0%	21．6%	20．4%	85	380	12，466	1，910	
目標達成率	98%	101%	103%			93%	95%	148%	110%	104%	97%	

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク日光　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、「生活保護受給者等の就労件数」に係る取組を重点的に進めることとした。

取組としては、日光市等関係機関の福祉部門及び雇用部門と連携・協力を図るため、「日光地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会」をハローワーク日光に設置し連携体制の調整や意見交換を行った。また、就労支援チームによる巡回相談により求職者に対し綿密な職業相談を実施するとともに、職員の事業所訪問や求人受付窓口での助言指導により求人者・求職者の双方向に対し顔の見える関係づくりを構築するなど効果的なマッチングに努めた結果、当該重点項目については目標達成した。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、若手職員を中心に求職者に対する面接指導研修や労働局が主催する研修を受講させ、自所内で伝達研修を行うなど職員の資質向上を図った。加えて、ハローワークの職業相談等においては各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修を実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、主要指標と位置付けられている「雇用保険受給者早期再就職件数」の目標達成が低迷していたことから、「あなたの早期再就職プラン（注１）」、「早期再就職意思表示カード（注２）」を作成し、求人情報提供、個別求人開拓、来所勧奨、応募書類作成支援など、集中的な就職支援に取組み綿密な職業相談を行うことにより、業務改善を進めることができた。

（注１）「あなたの早期再就職プラン」は、個人ごとの再就職手当の受給額（試算）とそのための就職時期を見える化し、目標を明確にすることで、計画的に就職活動を進められるようにするもので、求職者（注２）「早期再就職意思表示カード」は、求職者自身に決意表明していただくためのものであり、また窓口の職員が集中的支援対象者であることを把握しやすくするためのものです。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内の産業構造は、観光サービス産業のウエイトが特に高いことから、休日等の労働条件が一般的な求職者ニーズとマッチしない点があり、今後においても、人手不足を解消するために、「働き方・休み方改善ポータルサイト」の活用を図り、働きやすい・応募しやすい求人を確保したうえで、求人情報提供の充実を図る。

また、求人充足数の向上を図るために、職員による事業所訪問により、求人票以上の情報を収集し、求職者担当者制・予約制によるきめ細やかな就職支援により、求人者と求職者の双方に対する顔の見える関係づくりを構築していく。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管轄の地方公共団体は、過疎地域に指定されており、人口減少対策として移住促進施策を実施しており、当所としては、日光市の地方創生関連事業に積極的に参画する等により、地方創生、地域経済の活性化のために、国の施策である「地域雇用活用化推進事業」や「生涯現役促進地域連携事業」を活用した、就職希望者の能力開発、人材育成及び地域への誘導など、日光市との更なる連携強化を図ったうえで観光のまちをＰＲし魅力ある雇用のマッチングを推進していく。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1，453	1，252	299	100．0%	99．1%	21．7%	21．0%	68	3，193	633
目標	1，524	1，298	306	90．0%	90．0%	22．0%	22．6%	43	3，442	670
目標達成率	95%	96%	97%	－	－	98%	92%	158%	92%	94%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク黒磯　就職支援業務報告（平成30年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、雇用情勢の好転に伴う人手不足の状況を踏まえ、求人者サービス向上の観点から「充足数」の目標達成を最重点と考え、「求人リサーチ」の実施や「ミニ面接会（管理選考）」の実施などの取組を行った。

特にミニ面接会については、毎月第２・４火曜日に実施することを原則に、実施回数３５回、参加事業所数は延べ１１３事業所となり、求人者・求職者に対して効果的なマッチングの推進を図った。

また、従来から実施している「事業所アピールボード」の拡充を行った。この取組は、求人票では伝えきれない事業所のアピールや魅力等を求人者自らが作成し掲示するもので求人者からは「自ら発信できる場」として、求職者からは「求人票以上の情報を収集することができ、興味がわく」などの一定評価を得た。併せて、当所管内の主要産業である宿泊業求人については、事業所見学会を１１回開催して参加者１９名となった。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員個々の資質向上のために「職員研修」の充実を図り、求人・求職者支援サービスの更なる強化に努めた。併せて、職業相談担当職員の見識を深めるため、定期的に事業所訪問を実施し、仕事内容の詳細な把握、経営者の考え（採用基準や経営方針など）の把握に努めた。これらの取組により得た情報等については、求人受理時や職業相談時に有効に活用された。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

月３回、最新の管内求人を一覧表として作成・発行している「求人情報誌」については、ハローワークの利用勧奨を目的として、表紙にハローワークの支援メニューを掲載して管内の自治体、道の駅、自動車教習所に配置し、広くハローワーク利用の周知を図りました。

また、当所の主要産業である宿泊業において、仕事内容や勤務時間等の求人内容をより詳しく理解してもらうため、事業所見学会を実施し労働条件や勤務実態等の理解を促し、求職・求人（就職・充足）両面でのサービス改善を図った。

さらに求職者が減少傾向にある中、増加傾向の高年齢求職者に対する効率的な求人情報提供を目的として、毎月３回、管内及び近隣地区の高年齢求職者向けの求人一覧表を作成し窓口等で配布提供した。作成にあたり、文字を大きく見やすくする等工夫し、利用者からは好評が得られた。この取組により、この情報を手に来所の上、職業相談紹介につながるケースも多くみられ、求職者数・紹介数・就職件数が減少傾向

にある中、高年齢者の就職件数は、ほぼ前年と同水準の成果が得られた。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「ミニ面接会（管理選考）」については、求職者が減少傾向にある状況下、より多くの求職者に参加を確保するための十分な周知期間の確保が必要となることから、求人担当及び職業紹介担当が密接に連携し計画的な開催を図る。

「事業所見学会」については、宿泊・サービス業のみを対象に実施したが、介護・福祉サービス業などの人手不足分野の拡大実施により、求人充足に向けた取組に努める。併せて、求職者向けに介護セミナーと保育セミナーを実施し、労働条件や勤務実態等の理解を深め、当該業種の充足促進を図ります。

（４）その他業務運営についての分析等

管内には、栃木県立県北産業技術専門校があることから、連携を密にした職業訓練制度の周知、適正な科目への受講勧奨を図る等、求職者支援の充実に取り組む。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1，789	1，682	442	100%	100%	19．6%	19．9%	64	4，133	835		
目標	1，787	1，758	425	90．0%	90．0%	22．6%	21．0%	48	3，872	680		
目標達成率	100%	95%	104%			86%	94%	133%	106%	122%		

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率